

# 書 写

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4)	各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力が育成されるよう工夫されているか。
	(5)	硬筆と毛筆を関連付けて学習を進めることができるよう工夫されているか。
	(6)	硬筆と毛筆の分量は、適切に配慮されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通 観点	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	教 出	光 村
1 の 特 長	(1) に 資 す る 内 容、 構 成 と な っ て い る か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文字といっしょに」で、我が国の伝統的な言語文化に関する言葉や文章を書いたり、コラムを読んだりすることで、伝統と文化を大切にすることを養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書いて伝え合おう」で、友達の良いところや感謝の気持ちを書く題材を取り上げることで、豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書き初め」の歴史や行事を全学年で紹介することで、伝統と文化を大切にすることを育むことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	(2) 解 を 深 め る 学 習 に 生 か せ る 題 材 が 扱 わ れ て い る か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年では、筆・和紙・硯・墨ができるまでが解説されており、対馬市の特産品である若田石硯と関連させることで、本県への関心を高めることができるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年では、郷土かるたや百人一首が示されており、ふるさとへの関心や理解を深め、それらを大切にしようとする心情や態度を育てることができるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～6年で、裏表紙にSDGsと書写を関連付けたコーナーを設けることで、社会の問題を自らの問題として認識し、長崎の豊かな自然を大切にしようとする心情や態度を育むことができるようになっている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観点	発行者 東 書	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・工場的・工夫された基本的な知識・技能が確実に習得される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年以上は、單元ごとに学習事項のポイント「書写のかぎ」を設けることで、単元のねらいを明確にし、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> <li>1・2年の巻末に「水書用紙」が添付されており、水書を利用して何度も筆で書くことで、硬筆での適切な書字動作が身に付くよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運筆を「とん」「すうっ」などの音声で表したり、大きな文字を指でなぞったりする活動を提示することで、体感したり想像力を働かせたりしながら、運筆について理解できるよう工夫されている。</li> <li>1・2年の巻末に「水書用紙」が添付されており、運筆や筆圧の感覚を養い、鉛筆と交互に活用していくことで、適切に運筆する能力を高めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年に「しょしゃすたーとぶっく」3年に「毛筆スタートブック」を設けることで、硬筆・毛筆の入門期の基本を網羅し、書写学習に楽しく取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>1・2年の巻末に「水書用紙」が添付されており、水筆で書く活動に取り組み、終筆の筆使いを体感することで、「とめ・はね・はらい」の技能を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>(2) 現る知識・能力等が育成に必要な思考力・判断力・課題を解決する力に活用されるよう工夫されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見つけよう」で、単元の課題を明確にし、「書写のかぎ」で身に付けたい知識・技能を確認することで、ねらいとする資質・能力の習得が図られるよう單元構成が工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考えよう」で単元の課題を明確にし、「ここが大切」で身に付けたい知識・技能を確認することで、ねらいとする資質・能力の習得が図られるよう單元構成が工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年以上の題材に、「たいせつ」を設け、他の字を書く時にも活用できる基礎・基本を示すことで、課題を意識して学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>(3) 主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写の学び方として「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」という単元の流れを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つかむ・考える」「書く・確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」という学習の進め方を示すことで、学習手順を知り、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年以上で、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の進め方を示すことで、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

観 点	発 行 者 東 書	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことができるよう工夫されている。</p>	<p>「レッツトライ」で他教科や、学校生活に生かすことのできる活動を設けることで、書写で学習した内容を、各教科や日常生活に生かし、自分なりに考えながら表現することができるよう工夫されている。</p>	<p>5年「六年生を送る会に向けて」、6年「今の思いを書き残そう」という単元を設けることで、書写で身に付けた力を生かして、様々な形で表現できるよう工夫されている。</p>
	<p>(5) 硬筆と毛筆を関連付けて学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>1・2年で巻末に水筆の学習を取り入れることで、3年以降の運筆能力向上と毛筆へと系統的に学習を行うことができるよう工夫されている。</p> <p>3～6年では、硬筆で課題をつかみ、毛筆で書くことで確認したあと、硬筆で他の文字を書き定着を図るという一連の学習過程を示すことで、毛筆と硬筆を関連付けられるよう工夫されている。</p>	<p>1・2年で水筆学習を取り入れることで、適切に運筆する能力を高め、3年以降の毛筆へと系統的な学習を行うことができるよう工夫されている。</p> <p>3～6年では、毛筆の学習で硬筆でのためし書き、まとめ書きができる欄を設けることで、毛筆と硬筆を関連付けて学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>1・2年では、画の書き方の方向をキャラクターと共に示したり、擬態語・擬音語を活用して表したりすることで、基本的な運筆を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>1年から水書学習を取り入れたたり、3～6年では、毛筆学習後に硬筆課題を設けたりすることで、硬筆と毛筆を関連付けて学習が進められるよう工夫されている。</p>
	<p>(6) 硬筆と毛筆の分量は、適切に配慮されている。</p> <p>各題材で毛筆で学習する前に硬筆で課題をつかむという一連の学習過程を示すことで、毛筆と硬筆の分量が適切になるよう配慮されている。</p>	<p>各題材で毛筆の学習前に硬筆で「ためし書き」を、学習後に「まとめ書き」をするという学習の流れを設定することで、毛筆と硬筆の分量が適切になるよう配慮されている。</p>	<p>「学習の進め方」として、毛筆学習の最後に硬筆課題を設定したり、毛筆で学習したことを手紙やノートの書き方などの日常に生かす学習を設定したりすることで、毛筆と硬筆の分量が適切になるよう配慮されている。</p>

Ⅲ 具体項目

観 点	発 行 者	東 書	教 出	光 村
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	(1) 文章は、質・量ともに分かりやすく、内容となつて豊かな記述内	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章表現は、発達段階に応じてポイントとなることを端的で分かりやすく示すことで、主体的に考え、理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章表現は平易で簡潔であるとともに、運筆方法を具体的な言葉で示すことで、主体的に考え、理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントとなる箇所を簡潔かつ問いかけるような文章表現を用いることで、主体的に考え、理解できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 写真、挿絵、図表など、意欲を高め、学習効果に十分配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛筆教材では、二色（朱墨と淡墨）の淡墨図を穂先のイラストとともに提示することで、穂先の通り道を視覚的にとらえることができるよう配慮されている。</li> <li>鉛筆の持ち方を写真で手元に焦点を当て、左手の持ち方と右手の持ち方を掲載することで、ポイントを視覚的にとらえやすいよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛筆教材では、二色（朱墨と淡墨）の淡墨図を1ページに大きく掲載することで、穂先の通り道を視覚的にとらえることができるよう配慮されている。</li> <li>見開きページに学年の目標に沿った言葉と写真を掲載することで、意欲的に学習できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛筆教材では、二色（朱墨と淡墨）の淡墨図と穂先の図やキャラクターの言葉等を関連付けて提示することで、穂先の通り道を視覚的にとらえることができるよう配慮されている。</li> <li>鉛筆の持ち方を写真で手元に焦点を当て、大きく掲載することで、ポイントを視覚的にとらえやすいよう配慮されている。</li> </ul>
	(3) レイアウトや色彩、製本等については、文字の大きさ、挿絵の活用、紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>目次の基本単元のタイトルと各ページの単元の色を同じ色にしたり、どのページも学習過程を同じ位置に配置したりすることで、学習のつながりが理解しやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛筆学習では、右側の紙面で文字をよく見た後、左側の紙面で学習過程を確認できる構成にすることで、学習のポイントや学習の流れが分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のポイント（とめ、はね、まがりや書き順）をキャラクターやイラストを効果的に用いることで、視覚的にも分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>